



<http://www.hcr.or.jp>

Int. Home Care & Rehabilitation

## CONTENTS

開催案内 H.C.R. 2007	1	ワークショップ・セミナー、相談コーナー	5
第33回国際福祉機器展 H.C.R. 2006報告	2	来場者アンケート	6
出展製品、シンポジウム、子ども広場	3	国内出展社アンケート、 海外出展社アンケート	7
ふくしのスキルアップ専門職講座、 特別セミナー、特別講演	4	広報、PR活動、車いす貸出コーナー、 シャトルバス	8

編集・発行：財団法人 保健福祉広報協会  
Publisher: Health and Welfare Information Association

住所：〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル  
TEL.03-3580-3052 FAX.03-5512-9798  
定価1部 200円(消費税・送料込)

2006年は、社会保障施策において、改正介護保険法の施行と障害者自立支援法の施行という2つの大きな改革が実施されました。これらの改革は、人口減少社会という局面で、持続可能な社会保障制度とするための再構築であるとされています。しかし、急激な改革に国民は不安を募らせています。その背景には、近年、わが国の経済は外需を中心に回復をみせているものの、内需は未だ厳しい状況にある現状があります。

また、2006年は、大都市を中心に労働力の確保が課題となった年です。2007年問題とされる団塊の世代の定年退職は、さらに、労働力に影響を及ぼします。福祉の現場においても労働力の確保が急激に難しくなっています。一方、高齢化の進行により介護を必要とする人々は増え続けているのです。

こうした状況に利用者の自立生活の可能性を拓ける福祉機器は、高齢者や障害者の日常生活にお

## 21世紀の 保健福祉の 基盤づくりを

### H.C.R. 2007に向けて

#### Moving Towards H.C.R. 2007

いて欠かせない存在です。また、介護を補助する福祉機器にも高い関心が集まっています。

福祉機器には新たな技術が導入されてきています。ITやロボットなどの技術を使用した機器は、より一層、高齢者や障害者の世界を広げ、介護者の負担を軽減させていくものと思います。関係者が現状と課題を的確に捉え、引き続き福祉機器の開発・普及の促進を図られることを期待いたしますとともに、H.C.R.がその一助となるよう本年も取り組んでまいります。こうした取り組みこそ、世界に貢献できる分野であります。

H.C.R. 2006は、17か国・地域より632社よりご出展いただき、13万人を超える来場者を迎えることができました。関係者の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

2006年12月、国連で障害者の権利条約が採択されました。障害がある人々の交通手段、教育、雇用、余暇活動へのアクセスを改善するため、段階的な取り組みを続けることを求めています。わが国でも住宅のバリアフリー化や、駅や道路の改善



が進められていますが、今後一層、ノーマライゼーションの理念の実現に向けた施策が進んでいくことが期待されます。

障害者や高齢者の社会参加を促進するためには、施策の実施や福祉機器導入とともに、地域に暮らす人々への理解を深めていかなければなりません。

本会では、国際福祉機器展の開催を中心に、世界の保健福祉に関する情報発信、シンポジウム・セミナーの開催、H.C.R.ニュースの発行など、広報活動に取り組んでまいります。特に、障害者、次世代育成施策における保健福祉の課題を取り上げてまいります。それらは、国や地域を超えて21世紀に共有すべき課題であります。

2007年におきましては、これらを一層推進し、高齢者と障害者の自立の促進をするための環境づくりに努めてまいり所存です。今後とも皆様のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

財団法人 保健福祉広報協会



### [開催案内]

#### 第34回国際福祉機器展 H.C.R. 2007

34th Int. Home Care & Rehabilitation Exhibition 2007

H.C.R. 2007は、平成19年10月3日(水)～5日(金)に、東京ビッグサイトで開催いたします。

本会では、今後とも福祉機器の開発と普及の促進に努めてまいりますので、引き続き、関係各位のご協力、ご参加をよろしくお願い申し上げます。

- 会 期  
平成19(2007)年 10月3日(水)～5日(金)
- 会 場  
東京ビッグサイト 東展示ホール
- 出展募集  
平成19(2007)年 2月1日(木)～3月30日(金)

